

表示器に手書きメモ保存で 現場効率が劇的に向上

その場でメモを残すことができないとあきらめていませんか？

現状

半導体製造メーカー生産技術ご担当者さまのケース

- ・クリーンルームや無菌室では、防塵用の紙やペンでないと不良要因・引継事項などの記録ができない。
- ・人が目で見て確認した情報を、そのままわかりやすく記録したい。

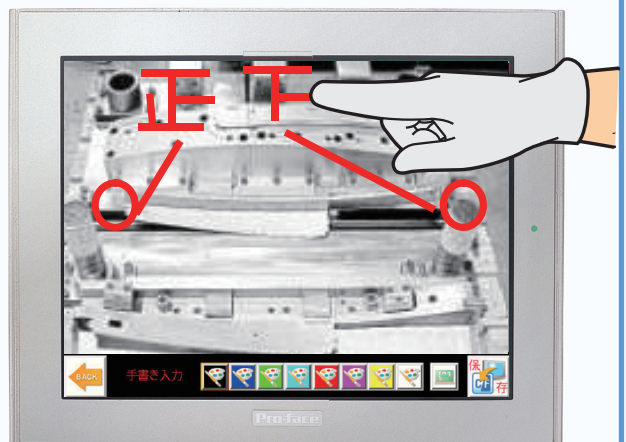


ご提案

そんなあなたに朗報です。

表示画面に直接コメントを手書きすれば、「現場の装置状態」と「目で確認した情報」をあわせて保存することができる。

表示中の画面に
手書きでコメントを追加



操作方法

- ①画面キャプチャしてメモリーカード保存
- ②キャプチャしたデータをメモリーカードから画面呼出し
- ③呼出した画面に手書きして、再度メモリーカードへ保存
- ④保存後、モニタしたい場合は、ファイル読出し

簡易的に書き込みを行うことで品質記録・

処置記録管理データの記録として活用できます。

(不良要因の回数をカウント、状態変化を時間ごとに記録、治具のチェックなど)

多目的手書きアプリケーション

サンプル画面をご用意しています。詳しくは、営業員までお問い合わせください。



半導体製造メーカー
生産技術担当
人見様(仮名)/兵庫県

この厳しい時代、生産性向上という製造業の命題は、日々大きなプレッシャーとなり、毎日、胃が痛くなる思い。そんな中、見事現場改善を実現された半導体製造メーカーさまの事例をご紹介します。

制御データだけでは事象しかわからないので、 装置停止時の真の原因がわからない。

発端は、「稼働率向上」をテーマにした現場との定例会議でした。装置停止（アラーム発報）時の、制御データを分析して、カイゼンしていこうという会議ですが、制御データだけでは、事象しかわからないので、真の原因が追求できないと、喧々諤々。担当にその時の状況を聞いてみると、状況は一変して、状況把握ができたんです。「ああ、そういうことか、なるほど。そういうことか。」と。やはり、人が目で見た情報と制御データがないと、正確な分析なんてできない。しかし、要因記録のためにクリーンルームに、防塵ペンや紙を置くのも・・・。

人が目で見た情報を、紙やペンを使わずにその場で 記録できるいい方法、それが表示器に手書きでメモ。

現場の担当が目で確認した情報を、簡単に記録しておける方法ってないものかと悩んでいたところに、デジタルの営業員から、提案されたんです。

「Pro-faceの表示器におまかせください！」って。(笑)

デジタルの営業員からの提案は、現場の表示器に、発生した事象に対しての要因を担当者が記録するというものでした。表示中の画面に手書きでコメントを追加したり、画像ファイルやカメラ画像へ簡易的に書き込みができるとのこと。

なるほど。紙もペンも使わずに、目で見た情報を記録するには、表示器が最適でした。



引継ぎメモにも活用。

コミュニケーショントラブルまで防止してくれるなんて。

状況把握を正確にできるようになった甲斐があって、稼働率向上の打ち手が明確に。しかも、この手書きメモを活用すれば、今まで現場で煩雑になっていた引継ぎにも利用できる。現場でのコミュニケーションが、スムーズになって、うれしいことばかりです。



ご紹介した事例は最新機種でも実現できる！

新しい標準、新たな価値、はじまる。

The New Pro-face Standard

プログラマブル表示器

GP4000 SERIES



本チラシにてご紹介した提案内容は、お客様の状況により実際のアプリケーションが異なります。詳しくはお問い合わせください。

株式会社デジタル

www.proface.co.jp

東京支社：03-5821-1101

中部支社：052-961-3701

西日本支社：06-6613-3111

仙台営業所・北関東営業所・神奈川営業所・長野営業所・豊田支店・北陸営業所・静岡営業所・岡山営業所・広島営業所・四国営業所・九州営業所

製品のご用命は

●Pro-faceは、株式会社デジタルの日本、米国、カナダ、ヨーロッパ、その他の国における登録商標です。●その他、本誌に記載している他社登録商標は、本誌掲載製品を紹介する目的での使用であり、商標権を侵害する意図があるものではありません。